

南太平洋医療隊

郵便番号：332-0016 住所：埼玉県川口市幸町 3-8-14

ホームページ：http:spmt.jp

南太平洋医療隊：Facebook<https://www.facebook.com/spmt.jp/>

読者の皆様へ

コロナ感染防止のため長期間入国規制がなされていたうえに、2022 年 1 月には海底火山噴火、続いて発生した津波被害など、長期間トンガ訪問が困難な状況を経ての現地訪問となりました。

南太平洋医療隊が 1998 年からトンガ王国でボランティア活動を開始し今年で 25 年となり、トンガ王国保健省歯科スタッフの頑張りにより、多くの成果が形となりました。

<ババウ諸島での活動>

1. 中高等学校歯科検診、 2. 歯周病に関する質問調査

VAVA'U High School、TAILULU College、MIZPAH High School、SAINEHA High School、MAILEFIHI SIUILIKUTAPU College の計 5 校の全学生が対象。

歯科検診はトンガマリマリチームが主体となり、準備から片付けまで行っています。受診の必要がある生徒には、電話番号を聞いて後日予約をしていくという流れを作り、受診することを本人任せにしないようにしています。また、緊急性がある場合は、その場で予約を与えました。

3. マリマリプログラムの小学校巡回の視察

GPS TUANUKU を視察。フッ化物洗口とラジオ体操は継続して行われていました。

4. NGU (ババウ) 国立病院歯科室 訪問。

う蝕治療、外科処置のみならず、超音波スケーラー使用下で歯周病治療にも取り組んでいました。

<トンガタブ本島での活動>

1. マリマリプログラム

学校が休み(9/16~9/24)のため 9/26 からマリマリプログラムは順次再開しました。本島では東西と中央の 3 つの地域に分けて、週 1 回フッ化物洗口とラジオ体操を巡回して実施しています。



主な活動

2023 年 4 月~12 月

トンガマリマリチームと共に 3 名が現地活動に参加しました (9/13~26)。

<中高等学校歯科検診>



<小学校でのマリマリプログラム>



<歯科室への支援物資の寄贈>



2.VAIOLA 国立病院歯科室 訪問

新しく採用された、デンタルアシスタントの卵たちが、研修を兼ね各ユニットで歯科診療の見学及び用意等を手伝っていました。フッ化物洗口剤、フッ化物歯面塗布剤、超音波スケーラーのハンドピース、その他歯科材料等を寄贈、東京都歯科衛生士会から寄贈されデンタルフロス（テープ状）も持参しました。

<マリマリプログラムの成果>

1. 今回トンガ国内活動の諸経費（ババウまでの渡航費、宿泊代など）は政府から得られるようになり、今年に入り、政府より新たにマリマリ巡回車を 4 台配られました。

2. トンガ王国保健省歯科が南太平洋 WHO のアワードに「Malimali (Smile) Project-School-Based Fluoride Mouthrinse in Tonga Schools since 2000」を応募し、「THE WHO HEALTHY ISLANDS BEST PRACTICE RECOGNITION」を受賞しました。WHO にて歯科が受賞したのは初めてのこととなりました。表彰式にてスシ先生がプレゼンテーションを行い、翌週、国連の UHC のハイレベル会議において発展途上国の歯科疾患予防のモデルとしてビデオ放映されました。

3. セントラル教会にて王様ご臨席の下、WHO アワードの件が紹介され、主祭からマリマリプログラム 25 周年記念のお祝いの言葉を戴きました。

4. “マリマリプログラム 25 周年記念式典”がトンガマリマリチーム主導で開催されました。プロジェクト開始当初の元保健省大臣、現保健省大臣、在トンガ日本大使、WHO 職員、JICA 所長など 100 名近くが出席の下、盛大に祝典が開催されました。マリマリプログラムは歯科スタッフの活躍により、多くの子供たちがう蝕から守られ、体を動かす習慣が身につく、生活習慣病予防へと繋がっているとの思いが強くなりました。

<海底火山噴火及び津波による被災のその後>

2022 年 1 月 15 日、トンガの海底火山で起きた大規模な噴火により津波が押し寄せました。海沿いの建物が倒壊したほか、海底ケーブルが損傷して電話やインターネットの通信が困難になり、火山灰で飲み水が影響を受ける等、トンガ全土に被害が出ました。現在トンガは復興回復に向かっており、津波対策等インフラ整備に取り組んでいます。今回 9 月に訪問した際、海岸沿いにあった複数のレストランは倒壊し、跡地として残されていました。孤島のアタタ島も大きな被害を受けた島の一つで、住民は本島内陸に国が新たに建てた住居へ移住していました。

ご支援いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

～今後の予定～

・トンガ王国歯科スタッフが独自でフッ化物洗口剤をニュージーランドやオーストラリアなどの近隣国より入手できるようにルートを確保し、企業と連携してサポートしていきたいと思えます。

<新たなマリマリプログラム専用巡回車>



<WHO にてマリマリプログラムが受賞>



<マリマリプログラム 25 周年記念式典>



<倒壊した海沿いのレストラン跡地>



<アタタ島住民の新たな居住地>



文責者：河村康二